

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度				
事業番号	14	事業名	多文化共生社会事業		担当課		観光商工課				
					予算区分（款-項-目-中事業）		2-1-10-4 多文化共生社会事業				
			(中事業名) 多文化共生社会事業		決算書ページ		72	~ 一般			
I 基本情報	総合計画	基本目標	1 「やってみたい」でつながるまち	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち							
		政策	2 「やってみたい」が実現できる仕組みづくり	1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり							
		施策	(3) 誰もが活躍できる地域づくり	(1) くらしを支える生活基盤の充実							
	その他	開始年度	2021年								
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可				
		根拠法令等									
	関連計画	第2次長久手市多文化共生推進プラン									
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）	アウトカム（詳細はⅢへ）		④最終成果 (大事業の将来像)				
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> その他 対象の数： 約60,000人			②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わらるのか)				
		【事業内容】 外国人市民のニーズや国際情勢、本市における多文化共生の実態を把握し、外国人市民が地域の一員として活躍・生活することができるよう、多文化共生の地域づくりや国際交流意識の醸成に取り組みます。			【アクションプラン指標】 多文化共生促進事業数 【その他の指標】		国際交流や多文化共生について、関心や知識を深める (成果指標名) 国際交流協会事業参加者総数				
							大 事 業 共 通	国際交流や多文化共生への理解が生まれ、日本人・外国人双方にとって住みよいまちになる			

II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名	単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度					
				基準値	5											
				目標値	9		実績	7								
				基準値			目標値									
				目標値			実績									
				基準値			目標値									
				目標値			実績									
				事業開始の背景	近年の在住外国人数の増加により多文化共生の必要性が高まり、令和2年度に長久手市多文化共生推進プランを策定した。その後、外国人市民数が増加している中で、外国人市民への支援ニーズが多岐に渡っていることから、令和5年度に第2次長久手市多文化共生推進プランを策定し、多文化共生推進事業に取り組んでいる。											
					各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	エピソード			R6	多文化共生促進事業として、多文化共生推進会議（有識者会議、2回開催、延べ10人出席）、長久手市多文化共生推進連絡会議（庁内会議・やさしい日本語講座1回、20人出席）、児童生徒日本語教育支援事業の実施、プレスクールの試験的実施を行った。 新規採用職員向けやさしい日本語講座（1回開催、延べ20人出席）、また、名古屋外国語大学の留学生向け授業において「外国人にも分かりやすい情報の伝え方を考える」をテーマに情報発信方法を考えた。		R7									
				R8			R9									



